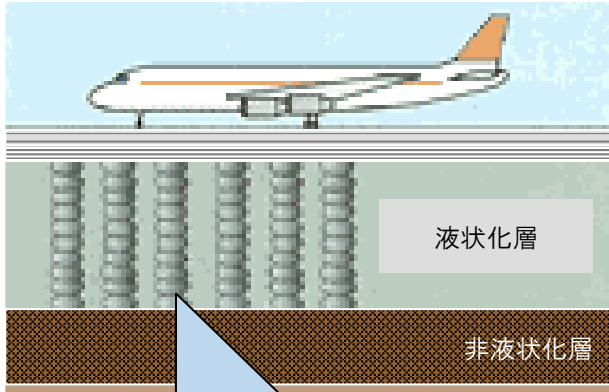


滑走路等の耐震対策により、地震時の緊急物資輸送の拠点機能を確保する（大分県国東市）

国土交通省 九州地方整備局
事業者：別府港湾・空港整備事務所

地震発生後における救急・救命活動等の拠点機能の確保や航空ネットワークの維持を可能とするため、滑走路等の耐震対策を実施



液状化層の地盤改良対策により、舗装の損壊を防止

〔耐震性の強化イメージ図〕



航空機の離着陸がない滑走路閉鎖中に施工

〔滑走路の耐震対策 施工状況〕

対策名：64-2 空港の耐災害性強化対策（滑走路等の耐震対策）

主たる施策グループ：4-3) 海上輸送の機能停止による海外貿易、複数空港の同時被災による国際航空輸送への甚大な影響



事業名：大分空港の滑走路耐震対策

- ポイント**
- 滑走路の耐震対策（液状化層の地盤改良対策）を実施
 - 地震による滑走路被害を防止し、輸送拠点としての機能を維持することで、迅速な被災地支援活動と背後圏経済活動の継続に寄与

地域の概要・課題

過去の地震災害時に空港が緊急物資輸送の拠点等としての役割を果たしたように、南海トラフ地震災害時において大分空港は、救急・救命活動等の拠点機能、緊急物資・人員等輸送受入れ機能を確保することで、迅速な被災地支援活動と背後圏経済活動の継続に寄与することが求められています。

事業の概要

大分空港において、地震による地盤の液状化により、滑走路の沈下が発生した場合には、緊急物資輸送の拠点機能等が低下し重大な影響を与えることから滑走路耐震対策を実施しました。

見込まれる効果

地震発生による滑走路の物的被害を防止し、救急・救命活動等の拠点機能、緊急物資・人員等輸送受入れ機能を確保することができます。

〔耐震対策効果事例：仙台空港〕

滑走路：対策済み

被害無し



事前に耐震対策を実施していたため、液状化による被害は発生せず、早期供用が可能でした。

誘導路：未対策

沈下



誘導路の未対策箇所では、液状化により舗装が沈下し、復旧に約1ヶ月間を要しました。

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進
デジタル化に関する施策の

(2) 災害関連情報の予測、収集・集積・伝達の高効率化